

安全報告書

2013年



(木蓮と五剣山)

八栗鋼索鉄道線

四国ケーブル株式会社

1. 利用者の皆様へ

当社の鉄道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

当社の社是であります「お客様に安全・快適・感動の布施を行ずること」を基に、各事業所とも施設の点検・整備・更新を確実に実施し、旅客運輸業において絶対の使命であります安全運行に万全を期すと共に、全社員が安全に対する使命感・責任感を常に意識して職務に努め、また「おもてなしの心」での接客を心がけ、お客様に快適な施設・乗物として満足して戴けるよう努力して参ります。

今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

四国ケーブル株式会社

代表取締役社長 赤川 正樹

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

***社是** **お客様に安全・快適・感動の布施を行ずること**

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております

- ① **安全第一** ; 一致協力して輸送の安全の確保に努めること
- ② **法令遵守** ; 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（安全管理規程を含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること
- ③ **現状把握** ; 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること
- ④ **確認励行** ; 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること
- ⑤ **人命優先** ; 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適

切な処置をとること

- ⑥ **情報共有**；情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること
- ⑦ **問題意識**；常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること

(2) 安全目標

事故発生をゼロにする

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(1) 鉄道運転事故

ありませんでした

(2) 災害（地震や暴風雨など）

ありませんでした

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

- ・ 1月9日、自動ブレーキ動作復旧のため、45分間の運休がありました

(4) インシデント（事故の兆候）

ありませんでした

(5) 行政指導等

ありませんでした

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全重点施策

- ・ 基本動作の励行
- ・ 設備の老朽化による事故、輸送障害をなくする（予防保全）
- ・ 係員のミスによる事故、輸送障害をゼロにする
- ・ 定期検査の確実な実施

(2) 人材教育

- ・ 全従業員を対象に研修会を実施し、諸規定、安全管理規定、細則等の復習を実施する
- ・ 連絡会を定期的に開催し、その都度問題点、周知事項等の確認をする

- ・ 全事業所における従業員の業務上の体験（ヒヤリ・ハット等）、お客様からのご意見、そして提案事項等を抽出し、集計した内容を所長会で公表して全従業員に周知する。問題点は早急に対策を講じる
- ・ 技術係は定期的に勉強会を実施し、技術レベルの向上に努める。また、新聞等の事故事例等を取り上げ、類似事故等の防止に努める

（３）緊急時対応訓練

- ・ 平成 24 年 5 月 7 日 ・ ・ ・ ・ ・ 新入社員中心の緊急停止訓練
- ・ 平成 24 年 8 月 16 日 ・ ・ ・ ・ ・ 車両自動制動機動作の復旧訓練実施
- ・ 平成 24 年 12 月 3 日 ・ ・ ・ ・ ・ 停電による復旧手順の訓練実施
- ・ 平成 25 年 3 月 14 日 ・ ・ ・ ・ ・ 発車取り消し手順の訓練実施

（４）安全のための投資と支出

予防保全の理念の下、各設備の補修、更新を継続的に実施する。また、安全の維持・向上のため、安全管理委員会の巡回により不安全箇所の早期改修、改善を実施する

*** 平成 24 年度の主な保守実績は次のとおりです**

- ・ パンタグラフ交換
- ・ 車両屋根塗装
- ・ ロープ切り詰め工事及びクランプ新規購入
- ・ 線路擁壁足場の金具取り付け工事
- ・ 離合点、ロープ防護板交換
- ・ 登山口トイレ、山上駅お休み所の側壁塗装
- ・ 車両外装、内装の塗装補修
- ・ 登山口ホーム監視カメラ設置
- ・ 線路沿線、木の伐採
- ・ 線路法面の浮石除去
- ・ 線路法面、橋梁、擁壁等の調査（鉄道・運輸機構に依頼）
- ・ 線路法面、猪侵入防止フェンス設置（500m）
- ・ 車両自動制動機開放用油圧ポンプ増設

*** 平成 25 年度の保守計画は次のとおりです**

- ・ 登山口ホーム屋根塗装
- ・ 山上駅ホーム屋根塗装
- ・ 線路落石防止工事
- ・ 車輜塗装の補修
- ・ 駐車場のライン引き
- ・ 線路擁壁足場の金具取付工事
- ・ 線路鉄柱塗装補修
- ・ 線路沿線、木の伐採
- ・ 線路枕木塗装

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています

- ・ 社長・・・・・・・・輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う
- ・ 安全統括管理者・・輸送の安全の確保に関する業務を統括する
- ・ 運転管理者・・・・全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項、鉄道施設及び車両に関する事項並びに事故防止に関する事項を統括する
- ・ 技術部副部長・・・・安全統括管理者の指揮の下、安全統括管理者の安全に関する業務を補佐する
- ・ 事業所長・・・・・・・・運転管理者の指揮の下、運転管理者の業務を補佐する
- ・ 乗務員指導管理者・・運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する
- ・ 運輸営業部長・・・・輸送の安全の確保に必要な要員の確保に関する事項を統括する
- ・ 総務経理部長・・・・輸送の安全確保に必要な財務に関する事項を統括する

当社の安全管理体制図は別図のとおりです

末尾に別図添付

6. 利用者の皆様との連携とお願い

より安全で信頼される ケーブルカー をつくるため、皆様からの声を役立てます。
どうぞ、ご意見をお寄せください

『 お客様の声をかたちにしていきます 』

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください

四国ケーブル株式会社

八栗ケーブル事業所

TEL 087-845-2218 FAX 087-845-4172

ホームページ <http://www.shikoku-cable.co.jp/>

E-mail info@shikoku-cable.co.jp

(別 図)

安全管理体制図

八栗鋼索鉄道線
四国ケーブル株式会社

